

SAS対策で事故防止

ひがし交通安全大会 OCHISが講演

【大阪】東警察署(吉岡雅己署長)と東交通安全協会(小西幸治会長)が主催し、9月29日に行われた「ひがし交通安全大会」で、ヘルスケアネットワーク(OCHIS)の作本貞子副理事長が「危険ないびきをしていませんか? SAS対策は交通安全へのショートカット」と題し講演した。



講演する作本副理事長

などを交えながら、睡眠時無呼吸症候群(SAS)患者の治療法、SASと病気・事故との関係などを解説。「企業にとって睡眠障害は生産性と直結する問題。睡眠障害で仕事の効率が40%下がるといふ試算もある」と説明し、負のスパイラルを断ち切り、さらなる優良事業所を目指すため、いかにSAS対策が重要であるかを語った。また、OCHISが企画する「健康管理で事故防止ポスター」も紹介した。

(木村麻理奈)

(レイアウト・中野秀一)